

アジアから学ぶ②

本校では、8年前から探究学習の先駆けとして「本気で楽しむ学び」を合い言葉に夏の特別講座として『A 知探 Q の夏』に取り組んでいます。その講座の一つとして始まった「カンボジアスタディツアー*」は、夏の講座に留まらずほぼ月に 1 回の割合で外部から講師の方を招いて学習会を行い、春休みには高校 1, 2 年生の希望者を対象に 4 泊 5 日のスタディツアーを行っています。コロナ禍での中断をさみ、今春 3 年ぶりに実施することができ、先週の土曜日には保護者の方にもご参加いただきテーマごとに報告会を行いました。中高一貫校教育を主とする本校では、中学 3 年の 3 学期に 2 週間のニュージーランド修学旅行を行っており、これを契機として海外について関心を高める生徒が多く、カンボジアスタディツアーには学年の 4 分の 1 近くの生徒が参加しました。

報告会後には、今年度から新たに始まる SDGs について考えるタイスタディツアーの説明会も行いました。タイへの旅行については、現地の気候を考えて 2 学期末の冬休みとし、北部に位置するチェンマイのコーヒー農園視察などを行う予定にしています。

また、校長ブログ「アジアについて考える」(4 月 12 日号)でも紹介しましたが、毎年 4 月末から 7 月に掛けての週末、都内各地の公園を中心にアジア各国からの留学生や在留の方々を中心に郷土料理や物品販売、チャリティー、芸能発表などを中心としたフェスティバルが行われています。そこで、28 日(日曜日)の午後から代々木公園 B 地区で開催されているラオスフェスティバルに参加してきました。歌謡あり、舞踊ありと多彩な芸能を鑑賞し、ステージを取り巻くように数多くの屋台が軒を並べていました。「微笑みの国」というお国柄でしょうか、他と比べて少し落ち着いた雰囲気のフェスティバルでした。



*現在では高校生の「探究学習(探究基礎 I・II)」が正規の授業として単位化されたため、『A 知探 Q の夏』が中学生を対象とした講座となったため学習会のみを実施している。

